

中国残留邦人も安心して介護を受けられるために

語りかけ ボランティア募集!



中国残留邦人等は高齢化し介護サービスが必要となってきました。しかし、言葉の問題や生活習慣の違いから介護サービスの利用に困難のある方がいます。そんな方々のために「語りかけボランティア」として活動してみませんか。

●ボランティア内容●

介護事業所等を訪問して中国語による語りかけや介護事業所内のレクリエーションの付き添いなど。

●募集対象●

中国語による会話ができる方

●活動時間●

火曜日から日曜日 午前9時～17時
(祝日・休日及び年始年末は除く)
ご自身のご都合に合わせて活動して頂けます
※交通費を支給いたします。

何かご不明な点が
ございましたら、
お気軽にご連絡
ください



申込・問い合わせ先 (担当: 林田)

九州中国帰国者支援・交流センター

〒816-0804 福岡県春日市原町 3-1-7 クローバープラザ東棟4階

TEL: (092)589-6667

FAX: (092)589-6665

中国残留邦人等に係る介護支援事業

中国残留邦人等語りかけ



ボランティア訪問支援

中国残留邦人等とは

昭和 20 年当時、中国の東北地方（旧満州地区）には、開拓団など多くの日本人が居住していましたが、同年 8 月 9 日のソ連軍の対日参戦により、戦闘に巻き込まれ、避難中の飢餓疾病等により多くの方が犠牲となりました。このような中、肉親と離別して孤児となり中国の養父母に育てられた子供を「中国残留日本人孤児」と呼び、生活の手段を失い、中国人の妻となるなどして中国に留まった婦人等を「中国残留婦人等」と呼んで、これらの人々を「中国残留邦人」と総称しています。

※なお、「中国残留邦人等」とは、「中国残留邦人」と「樺太残留邦人」の総称です。

中国及び樺太に残留された邦人の方々は、国外に残留を余儀なくされ、長年筆舌に尽くせないご苦労がありました。ようやく日本に帰国された時は、年齢を重ね中高年となっていたため、日本の教育も受けられず、日本語の習得には大変な困難があり、就労も思うようにはいかず、安定した職も得られませんでした。また、戦後の高度経済成長の時期には国外にいたため、他の日本人とは違いその恩恵を受けられませんでした。

このため、帰国後も懸命な努力をされましたが老後の準備が十分にできず、また、言葉が不自由なため、今もなお地域にとけ込めず、孤立しがちな状況にあります。

語りかけボランティアとは

中国残留邦人等の歴史的背景や帰国後の取り巻く状況を理解し、中国残留邦人等の支援のためのボランティア精神を持つ中国語等の日常会話が可能な方が「語りかけボランティア研修」を受講し、「語りかけボランティア」に登録していただき、介護事業所等を訪問などして、中国語による語りかけや傾聴・介護事業所内のレクリエーションの付き添いなどを行う無償ボランティアです。

※訪問は 1 回 1 時間程度、通訳の代わりや介護サービス提供にかかわる事は行いません。

訪問対象者

介護事業所等で日本語が不自由等の理由により介護サービス利用に困難や不安のある福岡在住の中国残留邦人等。

